



# 和洋九段女子中学校高等学校

Wayo Kudan Girls Junior & Senior High School 2025



# Think Globally, Act Locally

和洋九段の授業は、主体的に協働しなければ成立しないスタイルです。  
勉強させられているうちは、何も学べていないのと同じです。  
あなたは「何」をしたいのか。自ら学ぶ日々を、  
多くの友と始めてみませんか。

## ▶ Contents

Connected School	03
6年間の学び	05
カリキュラム	07
生徒の実績	09
卒業生からのメッセージ	11
海外留学プログラム	13
費用および奨学金制度について	14
【生徒の活動】team ami	15
【生徒の活動】天才集団	16
【教員座談会】ほんとうに必要な教育って何だろう？	17
和洋九段女子のはじまり・併設大学のご紹介	19
生徒数・生徒居住地および通学所要時間	20

## 校訓 先を見て<sup>ととの</sup>齊える

創設者 堀越千代の教育理念をより発展させるため、学園創立100周年を機に制定されました。その意味は、「先を見通す知性と、新しく会うものごとに対応する能力を持ち、それを奥に秘め、あわてず静かに待つ」ということ。校訓が示すこの人間像は、和洋九段における教育のモデルとなっています。

## 多くの出会いを通して 自分と出会う喜びを

学校の大切な役割の一つは、多種多様な良い出会いの場をつくることにあります。さまざまな物事や情報に触れ、知識を身につけることも重要ですが、中学高校の時代にいろいろな人、モノ、コトとの出会いを通して自分というものを発見し、理解し、受け入れてゆくことは、豊潤な人生を送るための第一歩となることでしょう。

私たち和洋九段という学校は、この「良い出会い」の機会をつくることを大切にしています。出会いをより良いものにするために学校が行っていることは三つあります。一つは全教員が取り組むPBL型の授業を通して、個人のコミュニケーション能力を飛躍的に高めること。また、英語の能力を身につけ、思考のレンジをワールドワイドに広げること。最後にICTリテラシーを身につけ、スマートな自己表現ができるようになることです。

そして多様で意義深いコミュニケーションを通じ、多くの失敗を体験することです。この失敗こそが将来の自分への大切な投資です。私たちの社会は残念ながら僅かな失敗に関しても不寛容な社会です。失敗のない人生は失敗であるといわれるように、失敗しないことを目的にする生き方は、何も生み出しません。良質な失敗の体験は、チャレンジする楽しさ、達成する喜び、今までなかったものを創造する充実感など、新しい世界を切り拓く上で大切な指標となることでしょう。

私たちと一緒に既存の女子校の枠を超えた多くの体験を通して、新しい自分を発見する楽しい6年間を過ごしてみませんか。

和洋九段女子中学校高等学校  
校長 中込 真





### 地方創生

高校1年では、長野県での民泊体験と農業体験の研修をきっかけとして、プロジェクト型PBLに取り組みます。現地の方々や大学の先生にも協力していただきながら、これからの地域社会についてディスカッションを行い、「人口減少に悩む地域を元気にするにはどうすればよいか?」という難易度の高いプロジェクトに取り組みます。



### 企業

30社余りの企業の方々の協力によって、社会とのつながりや、世の中の仕組みを自然に学ぶことができます。おもに、以下の学年で企業訪問などが行われます。

- 中学2年 企業・団体訪問 (GEP)
- 中学3年 シンガポール修学旅行
- 高校2年 広島・京都修学旅行



### 起業家教育

アントレプレナー(起業家)になることは、これからの日本社会で多くの人が一度は考える選択肢です。中学生の時代にそのノウハウを学び、リアルな模擬体験をすることは、創造する力を身につけ、協働する大切さを体験する貴重な機会です。



### 卒業生

社会のさまざまな分野で活躍している卒業生が在校生のための場づくりをしてくれます。また、部活動や進路に関しての相談など、多岐にわたって協力をしてくれます。



### STEAM教育

最新のSTEAM教育は、理系に留まらないサイエンスリテラシーの育成に力を発揮しています。企業の研究室、大学との連携により、創り出す喜びを共有します。

**STEAM教育**  
Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsを総合的に組み合わせた教育



### 社会貢献

なぜ勉強をするのか、という問いは学生なら必ず持つ疑問の一つです。その答えの一つが社会貢献のため、でしょう。いま取り組んでいる学びが、社会をどのように変える力になるのか、を実感することは、学ぶことの大切さや意義を理解することにつながります。身近なことから世界規模のプロジェクトまで、本校には多くの素材が準備され、生徒たちの取り組みを待っています。

# Connected School

## 社会とのつながりを体験

学校内の学びだけでは、グローバル社会で通用しません。大切なのは“学校と外の社会がフラットな関係でいられること”。企業、NPO法人、公的機関、大学関係者など、学校の外とのつながりを大切にしています。

具体的な生徒の活動については、P15-16のインタビューをご覧ください!



### NPO法人

生徒会の活動として、NPO法人 CIESF(シーセフ)のご協力により、校内の自動販売機をカンボジアへの資金援助型にしました。また、カンボジアへの教育支援として、使わない学用品を送ったり、絵本の日本語を英訳する活動に協力したりしています。中学生を中心に、このような世界とつながる学びを通して世界を知るという生きた体験をしています。

### 海外

海外大学への進学や海外留学プログラムが用意されています。(短期、1年程度)

- オーストラリア ● ニュージーランド ● カナダ
- ※くわしくはP13参照



### 各国大使館

学校周辺に大使館が多数存在する環境を生かして、シンガポール大使館をはじめ、各国大使館と修学旅行や文化祭などを通して交流します。



### 国内大学

成城大学・専修大学・東洋英和女学院大学などの連携がすすんでいます。聴講生として講義やゼミに参加したり、大学生と共に社会に向けたワークショップを開催したりするなど、参加生徒たちの興味関心に呼応した活動を行っています。



### SDGs

いまやSDGsを目にしにない日はないほど有名ですが、和洋九段は8年前より取り組みを開始し、大学、NPO法人、企業などにつながる際のキーワードとして深く活用しています。全校規模での特別授業、コンテストへの参加、企業とのコラボレーションなど、先進的な取り組みがメディアに度々紹介されています。



# 6 Year Overview

## 6年間の学び

自己理解(中1・中2)、自己研鑽(中3・高1)、自己実現(高2・高3)と、3つのステップで成長する6年間。  
 中学・高校ともに“座学だけで終わらせない”ことにこだわり、ポテンシャルを引き出す内容に注目してください。



### Admission Policy

#### アドミッションポリシー

求める生徒像

多様な価値観を受け入れ、他者を思いやり、積極的に自分の能力を高めたい人を求めます。実際に、現在海外帰国生をはじめとする国際的なキャリアを持つ生徒も増え、多様な価値観の中でお互いの個性を磨き合っています。

### Curriculum Policy

#### カリキュラムポリシー

教育課程の基本方針

現代の「読み・書き・そろばん」である高度な英語スキル、ICTリテラシー、PBL型のアクティブラーニングの手法を用いて、深い学びにつながる本質的な教科学習を展開します。日本文化、グローバル化に関する学びを中心に、それぞれのキャリア形成に必要な学習を行い、次のステップへの飛躍に備えます。

### Diploma Policy

#### ディプロマポリシー

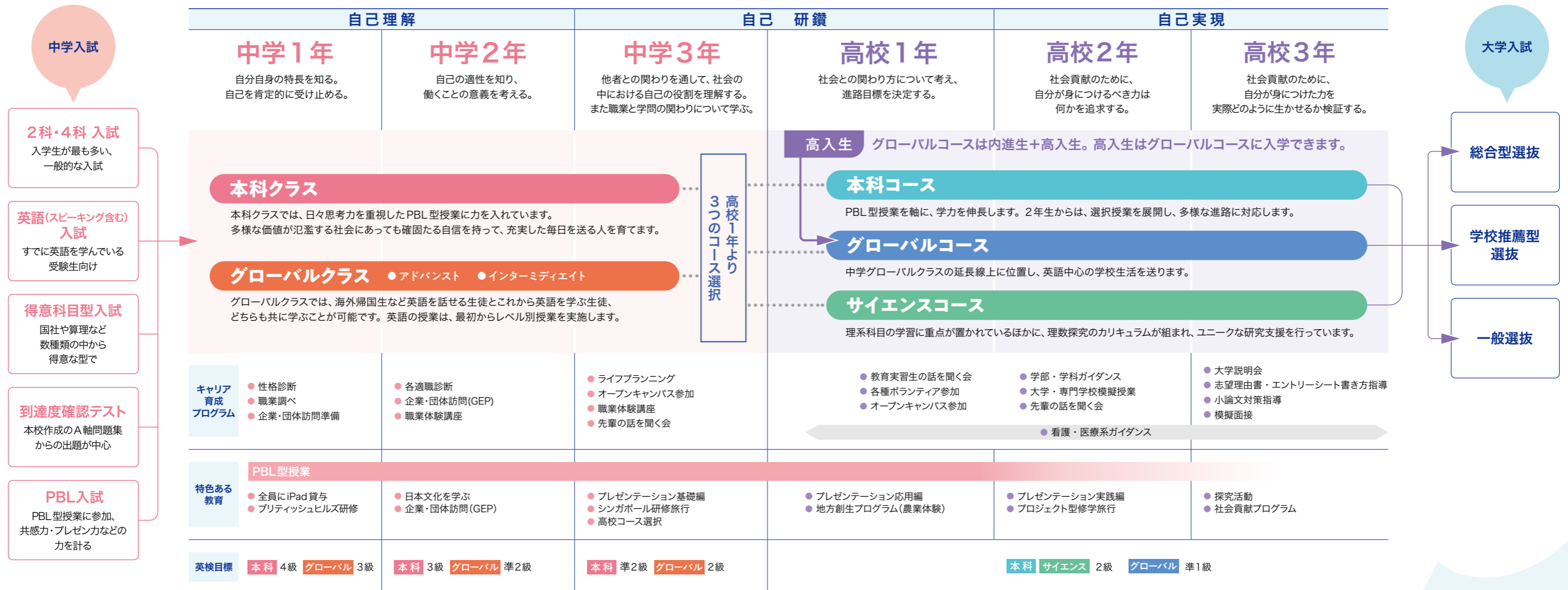
卒業時の能力

基礎力の充実から、世界標準の入試に対応可能な高度な応用力を身につけます。特に深い学びから身についた自己発信の力を使い、大学以降の学びに対応できる十分な力を養います。

#### 確かな成長を促す目標設定を、独自の「ルーブリック」で評価します。

和洋九段が実践する「ルーブリック」とは、本校が育成したいと考える人物に近づくための課題を表しています。このルーブリックに沿って、各教科・単元それぞれの課題と、その課題を評価する観点・基準が示されます。学校行事においても、その行事ごとの課題等がルーブリックで示され、教員間のみならず生徒とも共有します。これにより、主体的に知識を獲得し、論理的にものごとを解決する人材を育成します。

FOR ALL	A3	B3	C3
FOR US	A2	B2	C2
FOR ME	A1	B1	C1
	認識・理解	思考・探究	表現・創造



# Curriculum

## カリキュラム

得意も不得意もしっかり支える和洋九段のカリキュラム。  
PBLなどの21世紀型授業やさまざまな体験の前後にフォローアップを丁寧に行い、生徒の理解度を上げ、基礎学力向上を目指し、社会貢献に繋げることを教育の第一目的としています。

## 中学校

中学  
入試要項



幅広い入試形態を経て入学する生徒たちの、異なる価値観や個性が化学反応を起こし、日々の学習やPBL型授業は充実したものになります。そのような“広がり”や“ぶつかり合い”から生まれる新しい学びを、中学では大切にしています。

### ▶ 本科クラス

- 担任・副担任・授業担当者を中心に、きめ細かな学習サポートを行います
- 道徳・総合学習では、主に礼法や日本文化(華道・茶道・書道)を包括的に学びます
- 全教科でPBL型授業を行い、思考力を養う授業を展開します
- 毎年クラス替えを行います

### ▶ グローバルクラス

・アドバンスト  
・インターメディアイト

- 副担任には英語ネイティブスピーカー教員がつき、ホームルーム活動は英語で実施されます
- 英語の授業はオールイングリッシュです(アドバンスト)
- 総合学習として英会話をを行い、道徳では礼法や日本文化(華道・茶道)の体験を行います
- 3年間クラス替えはありません(グローバル⇄本科の移籍は毎年可能)

1年	英語 6	英会話 1 総合学習 1	国語 5	社会 3	数学 5	理科 3	音楽 2	美術 2	保健体育 3	技術家庭 2	道徳 1	H R 1
		英会話 2										
2年	英語 7	英会話 1 総合学習 1	国語 5	社会 3	数学 5	理科 4	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術家庭 2	道徳 1	H R 1
		英会話 2										
3年	英語 7	英会話 1 総合学習 1	国語 5	社会 4	数学 5	理科 4	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術家庭 1	道徳 1	H R 1
		英会話 2										

※ 黄色は本科クラスの授業時数です。 ※ 英会話は、ネイティブスピーカーの教員による少人数制の授業を行います。 ※ 中1の道徳では礼法、中2では日本文化を行います。 ※ 中1の技術・家庭では、コンピューター等を扱う情報教育(1時間)を行います。 ※ 本カリキュラムは令和6年度のものであり、今後変更の可能性があります。

## 高等学校

高校  
入試要項



高校からは目指す進路に合わせてコース制に。各コースとも特徴のあるプロジェクト型の活動や、SDGsに関連した社会貢献プログラム、グローバル社会に対応する力を育成する探究活動が充実しています。また、TS(英語資格試験対策の授業)を各コースに設置し、大学受験等に必要なる資格取得を目指します。

### ▶ 本科コース

- PBL型授業を軸に、学力の伸長を目指します
- 2年生からは選択授業を展開し、多様な進路に対応します
- 総合的な探究の時間では、自ら設定した課題研究に取り組み、効果的な発表技能を身につけます

目指す進路 文系・理系の国公立大学

### ▶ グローバルコース

- 中学グローバルクラスの延長線上に位置します
- 英語の授業ではネイティブスピーカーによる実践的な授業を展開します
- グローバル探究(3年)ではさまざまな社会問題について課題を設定し解決策を探っていきます

目指す進路 海外大学・英語で学ぶ国内大学

### ▶ サイエンスコース

- 理数探究基礎(1年)では基礎知識と実験技能を身につけます
- 理数探究(2年)では専門分野を追究し、科学的思考を高めます
- 理数科目の時数を増加し演習科目を設置して、深い学習を展開します

目指す進路 先端理系/歯医薬獣医系の大学

必修+選択必修科目 本科:97~99 グローバル:102 サイエンス:97 TS...Test Strategies 総合...総合的な探究の時間

1年	本科	現代の国語 2	言語文化 3	歴史総合 2	公共 2	数学I 3	数学A 2	生物基礎 2	地学基礎 2	体育 2	保健 1	芸術I 2	英語コミュニケーションI 4	論理・表現I 2	TS 1	家庭基礎 2	総合 1	H R 1
	グローバル	現代の国語 2	言語文化 2	歴史総合 2	公共 2	数学I 3	数学A 2	物理基礎 2	生物基礎 2	体育 2	保健 1	芸術I 2	英語コミュニケーションI 4	論理・表現I 2	TS 1	家庭基礎 2	理数探究基礎 1	総合 1
2年	本科	論理国語 2	文学国語 2	古典探究/生物 4	地理総合 2	日本史探究/世界史探究/数学II 4	化学基礎 2	体育 2	保健 1	芸術II/被服 2	英語コミュニケーションII 4	論理・表現II 4	TS 1	情報I 2	総合 1	H R 1		
	グローバル	論理国語 2	文学国語 2	古典探究 4	日本史探究/世界史探究/数学II 3	化学基礎 2	物理/生物 4	化学 4	体育 2	保健 1	英語コミュニケーションII 4	論理・表現II 4	TS 1	情報I 2	総合 1	H R 1		
3年	本科	論理国語 2	文学国語 2	古典演習/理科演習 4	日本史探究/世界史探究 4	地歴演習/数学演習 2	政治・経済/数学B 4	体育 3	英語コミュニケーションIII 4	論理・表現III 4	芸術III/食物 3	総合 1	H R 1					
	グローバル	論理国語 2	文学国語 2	古典演習 4	地理総合 2	日本史探究/世界史探究 4	政治・経済/数学B 4	体育 3	英語コミュニケーションIII 4	論理・表現III 4	TS 1	グローバル探究 2	総合 1	H R 1				
サイエンス	理系国語 3	地理総合 2	数学II/数学III 5	生物/物理 3	化学 3	体育 3	英語コミュニケーションIII 4	論理・表現II 2	論理・表現III 2	数学C 3	理科演習/食物 2	総合 1	H R 1					

※ 高校3年 本科 日本史探究・世界史探究は高校2年次数学履修者は履修しなくてよい ※ 黄色は自由選択科目 ※ 本カリキュラムは令和6年度のものであり、今後変更の可能性があります。

# Achievements

## 生徒の実績

大学合格だけが成果ではありません。日々何かにチャレンジし、表現する機会にあふれています。生徒たちのすべての挑戦を、和洋九段は誇りに思っています。

## 卒業生進路

2023年3月  
卒業生合計

82人

四年制大学

65人

短期大学

2人

専門学校

10人

留学・その他

5人

推薦入試進学者数	
旧指定校推薦	39
公募推薦	1
総合型選抜	21
合計	61



## 過去3年間の主な合格大学

### 四年制大学

大学名	合格者数	大学名	合格者数
青山学院大学	4	成蹊大学	8
亜細亜大学	3	成城大学	7
跡見学園女子大学	4	聖心女子大学	4
桜美林大学	4	清泉女子大学	5
大妻女子大学	5	専修大学	3
学習院大学	6	洗足学園音楽大学	2
学習院女子大学	4	大正大学	3
関西学院大学	2	玉川大学	3
関東学院大学	1	津田塾大学	2
北里大学	2	帝京大学	4
共立女子大学	13	帝京平成大学	4
杏林大学	2	東海大学	2
駒澤大学	7	東京医療保健大学	4
実践女子大学	5	東京経済大学	1
順天堂大学	2	東京工科大学	4
上智大学	1	東京女子大学	6
昭和薬科大学	2	東京女子医科大学	3
白百合女子大学	5	東京情報デザイン専門職大学	2

### 短期大学

大学名	合格者数
大妻女子短期大学部	2
共立女子短期大学	2
國學院大学北海道短期大学部	1
女子美術大学短期大学部	1
聖徳大学短期大学部	1
帝京短期大学	1
東京家政大学短期大学部	1

### 専門学校

学校名	合格者数
慈恵看護	2
東京女子医科大学看護	1
東京都立荏原看護	1
東京都立広尾看護	1
東京ビジュアルアーツ	1
日本医科大学看護	1
ヤマザキ動物	2

## 主な学校推薦型選抜枠

### 旧指定校推薦(2022年度)

上智大学	立命館大学	日本女子大学	女子美術大学
青山学院大学	成蹊大学	東京女子大学	東京女子医科大学
法政大学	成城大学	白百合女子大学	昭和薬科大学
学習院大学	日本大学	聖心女子大学	東邦大学
中央大学	駒澤大学	学習院女子大学	芝浦工業大学
関西学院大学	亜細亜大学	共立女子大学	

## 外部団体からの表彰実績(2023年4月~12月)

### クラブ活動

#### 空手道部

- 第53回千代田区空手道選手権大会  
中学生女子 組手【準優勝】中3
- 第77回江東区民体育大会空手道選手権大会  
形 中学生女子【準優勝】中3
- 第2回東京都マイベスト有級者空手道大会  
形競技 中学女子(無級~6級)【優勝】中2  
形競技 中学女子(5級~1級)【敢闘賞】中3

#### バドミントン部

- 千代田区中高生バドミントンI部大会  
中学女子ダブルス【第3位】中3
- 千代田区中高生バドミントンII部大会  
中学女子シングルス【第3位】中3
- 東京都私立中学高等学校協会第一支部球技大会  
中学女子団体戦【準優勝】中3

#### 水泳部

- 東京都高等学校新人水泳競技大会  
女子50m背泳ぎ【第8位】高1
- 第18回千代田区ジュニア水泳競技大会  
女子200m自由形【第1位】中1  
女子100m自由形【第1位】中3  
女子100m平泳ぎ【第1位】高1  
女子50m背泳ぎ【第1位】高1  
女子200mリレー【第3位】高1  
女子200mメドレーリレー【第3位】高1
- 千代田区体育協会会長賞 高1

#### 写真部

- 第51回東京私立中学高等学校 写真・美術展  
【入選】高2

### コンテスト・コンクール等

- 第一回全国高校生政策甲子園  
設定テーマ部門【優秀チーム(全国2位)】高1(3名)
- St.Scholastica's College  
Pastoral Commitment【Outstanding Achievement】高2
- 令和5年度 中学生の「税についての作文」  
【全国納税貯蓄組合連合会会長賞(全国4位)】中3  
【麹町納税貯蓄組合連合会会長賞】中3
- 第18回アイテム写真コンテスト「はたらくすがた」  
中学生の部【グランプリ】中3
- HANEDA EXPO「こども未来ピッチ」  
【HANEDA賞(最優秀賞)】中3(3名)  
【JP GAMES賞(優秀賞)】中3(5名)
- 考えよう!『ミライの地球』FRaU SDGs edu  
こどもプレゼン・コンテスト2023  
中学校部門【優秀賞】中3(5名)
- 2023山形県一輪車競技大会  
クラスF ソロ演技 中学生の部【第1位】中2
- 第11回福島県一輪車演技大会  
オープンペア中学生以上の部【準優勝】中2  
オープンソロ中学生以上の部【第3位】中2
- 第29回全日本シンクロナイズドスケート選手権大会  
ジュニア【第1位】高3
- 第72回全日本学生書道展覧会  
【推薦特別賞】高2
- 東京都薬物乱用防止コンクール  
ポスター部門【佳作】中2、中1

# Message

## 卒業生からのメッセージ

和洋九段を巣立ったあとも、大きな世界へ羽ばたこうと学びつづける卒業生。その姿はまさしく「先を見て齊える」を体現しています。

### 和洋九段で身についたことは 遠慮のいらぬチャレンジ精神です

2022年度卒業  
北里大学獣医学部動物資源科学科 2年



Message  
1

母も姉も女子校ということもあり、私も自然と女子校志向になっていました。ちょうど中学受験をするタイミングで「サイエンスコース」ができることを知り、理系科目が得意な私は迷わず和洋九段に決めました。みんなおとなしいのかなと思って入学したら、まったくそんなことはなく、女の子だけでなんでもやり遂げる日常はパワフルでした。中2からずっとクラス代表委員を任せられ、学校行事にも全力で関わりました。中高合同で活動するバレーボール部では部長を務め、大会に向けて練習メニューを考えたり、後輩の悩みを聞いてあげたりしていた日々も

懐かしいです。もともと理系志望でしたが、アスリートの食事や食材といった「食」に対する興味が強く、家畜動物のことを研究してみたいと思い具体的に進路を絞りはじめました。総合型選抜で必要になる自己推薦文の執筆には苦労しましたが、国語科でもあるバレーボール部の顧問の先生に指導をお願いしたところ、「あなたは〇〇も頑張っているのだからそれを書くといよいよ」と、予期せぬアドバイスをいくつもいただいたのには驚きました。“こんなにも私のことを見てくれるのか”と思うと本当にありがたく、必ず吉報

を届けたいとの想いで受験に臨みました。希望通りの学部・学科に進むことができ、新年度からは青森での牧場研修も始まります。振り返ってみると和洋九段で身についたことは「チャレンジ精神」です。何でも挑戦していいんだと思うようになったのは、紛れもなく和洋九段での経験があったからです。大学ではさらなる向上を期してまたバレーボール部に入り、新たに学園祭実行委員にも立候補するなど、今も挑戦を続ける日々です。

Message  
2



### 見えないところで苦しむ人々を 支援できるそんな人材になりたいです

2022年度卒業  
青山学院大学法学部ヒューマンライツ学科 2年

SDGsの学びをきっかけに、カンボジアなどの開発途上国を支援する団体について調べたことがありました。そこで知ったのが公益財団法人CIESF(シーセフ)でした。当時、中2の私たちはシーセフを訪問して初めて、カンボジアの子どもたちが独裁者によって教育機会を奪われていた現実を知ったのです。何不自由なく日本で暮らしている私たちには、まったく想像もできないような悲惨な歴史がそこにありました。何かできることはないかと「team ami」※(初代)のメンバーで模索するなか、シーセフと飲料メーカーがコラボした寄付機能付き自動販売機があること

を知り、その自販機を校内に設置すれば、カンボジアの子どもたちを救う“和洋九段初の試み”になると考えました。私たちはすぐさまそれを先生方に提案し、やがてその想いは実現に至りました。(P4 NPO法人の項目を参照)進路を考える際、再度SDGsの視点に立ち、進路を考えると、選んだ先がヒューマンライツ(=人権)でした。そんな想いを先生方は親身になって受け止めてくれ、学校推薦型選抜に欠かせない課題添削などを中心に、徹底指導してくださいました。その話を大学の友人たちに行くと、「それって手厚いね」とよく言われます。

先生方との距離が近い和洋九段で本当に良かったと感謝しています。大学の授業でドキュメンタリー映画を観る機会が多々あります。社会や世界のことを“それなりに知っている”と、ちょっと過信していたことを反省しながら、今はまだ知らないことばかりという現実を謙虚に受け止めるようにしています。将来は過労死や虐待など、見えないところで苦しんでいる人々に向けて支援ができるような、そんな人になりたいです。

※「team ami」の活動についてはP15参照

Message  
3



### 弁護士である両親に憧れて今 法曹への道を歩み始めています

2022年度卒業  
早稲田大学法学部 2年

中国の小学校に5年生まで通い、日本の小学校を経て中学受験しました。中国で英語を学んでいた私は、その感覚を取り戻したいと考えるようになり、英語教育に力を入れている和洋九段に進学しました。入学後、さらなる英語力強化のために英語部に入ったのですが、実は“ミュージカルに力を入れている英語部”という、想定外の活動がありました。最初は諦めようと思いましたが、ロールモデルになる先輩が数多くいたので思い直し、気がつけば中高6年間夢中になっていました。今では、あの頃ミュージカルで汗を流したことを誇りに思っています。

学習面では、中学からのPBL型授業にもすごく感謝しています。グループに分かれてディスカッションする機会が頻繁にあり、自分の意見をプレゼンで発信するという訓練を重ねたおかげで、スピーキング力がかなり鍛えられた実感があるからです。大学でもプレゼンの機会が数多くありますが、ここぞとばかりに私は前に出ていきます。そんな私は今、法曹をめざして法学部で学んでいます。両親揃って弁護士という家庭環境の中で育ったこともあり、幼い頃から法律系のドラマを観ることが好きでした。弁護士という

職業柄、父も母も仕事と共に生活しているような多忙な日々を送っていますが、どんな時でもクライアントのために全力で仕事をする真摯な姿は今も変わることなく、ずっと私の憧れであり続けています。昨年秋には法曹志望者を対象にした法曹コースに登録し、司法試験合格に向けた本格的な勉強を始めました。学友たちと切磋琢磨しながら、憧れを現実のものとするための努力を惜しまず成長していきたいです。

Message  
4



### 人見知りでおとなしかった私が 積極的な人間に成長しました

2022年度卒業  
東洋大学国際観光学部国際観光学科 2年

中学受験時から女子校志望でした。人見知りだった私に適しているのはここかなと、そんなひらめきで出合ったのが和洋九段です。入学後も相変わらずおとなしかった私でしたが、中1の2学期になぜか学級委員に選ばれ、戸惑う私の背中を「やってごらん」と、そっと押してくれたのがその時の担任でした。不思議なものでそれからの私は高3までずっと学級委員を務め、特に高校の3年間は学級委員長を任せられるまでになりました。写真部でも3年間、みんなをまとめる部長として頑張りました。活動は中高一緒なので、中学生に勉強を教え

たり、時には高校に上がるタイミングで進路相談に乗ってあげたりと、なんだか入学前の私には想像できない世界がそこにありました。「何かあったらいつでも話を聞こうよ」と、そんなふうに関心を持って送ってくれた担任の言葉があったからこそ、積極的な人間に成長できたのではないかと考えています。そんな私は大学進学に際して、総合型選抜での受験を考えるようになっていました。何のためにその学部に行きたいのか、その理由を自分自身でしっかりと見つめてみたかったからです。とはいっても自己推薦書は思った以上に難しいものでした。

高校の担任の的確なアドバイスや、きめ細かな添削指導がなければ乗り越えることができなかったと思います。ただおかげで充実した6年間を振り返ることができ、何よりも“なりたい自分”がより明確になったことが嬉しかったです。私の目標はホテルマンとして働くことです。いよいよ秋からはホテルでのインターンシップも始まります。台湾への留学も視野に入れながら、目標達成に全力を尽くします。

# Study Abroad

## 海外留学プログラム

希望者には、姉妹校 St.Scholastica's College への交換留学プログラムをはじめ、さまざまな留学制度が設定されています。

### 姉妹校との交流

#### St.Scholastica's College

オーストラリアのシドニーにある学校で、1996年に本校と姉妹校の提携を結び、それ以来深い交流が続いています。学校のモットーは平和を意味する「PAX」で、キリスト教精神に基づいた中高6カ年教育の私立名門女子校、140年の歴史があります。

目的	英語研修	国際交流 ～現地校生徒との交流～	異文化の体験 ～ステイ先の家族との交流～
実施期間	7月下旬～8月上旬(16日間)		
対象	中学3年生～高校2年生希望者(毎年30名程度参加)		
内容	午前	● 高校で英語の授業 ● 姉妹校の先生による授業	休日 ● ホストファミリーと過ごす
	午後	● 姉妹校授業への参加 ● 市内散策 ● 動物園見学 ● ハーバークルーズ ● 現地生とのフィールドワーク	その他 ● 姉妹校生徒との文化交流会 日本の伝統文化を紹介 ● ホストファミリーとの さよならパーティー



### 留学プログラム

#### ターム留学プログラム

国	都市	期間(約)	現地校
ニュージーランド	オークランド	70日間	St. Mary's College など
カナダ	ヴィクトリア	70日間	グレーター・ヴィクトリア教育局
オーストラリア	シドニー	70日間	St. Scholastica's College

#### 長期留学プログラム

国	都市	期間(約)	現地校
ニュージーランド	オークランド	1年	St. Mary's College など
カナダ	レスブリッジ	1年	レスブリッジ教育局
オーストラリア	シドニー	1年	St. Scholastica's College

### 海外大学への進学

和洋九段では、2019年度より海外協定大学推薦制度 (University Partnerships for Alternative Admissions: UPAA) に加入しました。この制度を利用することによって、イギリスやアメリカの名門20の協定校に出願することが可能になります。



## 費用および奨学金制度について(2024年度)

※次年度以降若干の変動の可能性があります。

### 学費について(年間の学費について)

#### 中学

項目	入学時	1年	2年	3年	合計
入学金	300,000				300,000
入学時 物品購入費※1	67,345				67,345
授業料		400,000	400,000	400,000	1,200,000
施設費		150,000	150,000	150,000	450,000
校費※2		3,700	3,700	3,700	11,100
生徒会費		8,000	8,000	8,000	24,000
後援会費※3		30,000	30,000	30,000	90,000
諸費積立金※3		290,000	290,000	80,000	660,000
合計	367,345	881,700	881,700	671,700	2,802,445

- 年間の学費(入学金・物品購入費は除く)は、銀行振込みによる分納(年2回)もしくは一括で納入をお願いしております。
- 寄付金制度はございますが、任意のものです。

#### 高校

項目	入学時	1年	2年	3年	合計
入学金	300,000				300,000
授業料		400,000	400,000	400,000	1,200,000
施設費		150,000	150,000	150,000	450,000
校費※2		3,700	3,700	3,700	11,100
生徒会費		8,000	8,000	8,000	24,000
後援会費		30,000	30,000	30,000	90,000
諸費積立金※3		270,000	170,000	80,000	520,000
合計	300,000	861,700	761,700	671,700	2,595,100

- 高等学校等就学支援金は考慮せず金額を表示しております。詳細は高校入学後お知らせしております。
- 年間の学費(入学金除く)は、銀行振込みによる分納(年2回)もしくは一括で納入をお願いしております。
- 寄付金制度はございますが、任意のものです。

※1 必ず購入するもののみ。

※2 図書費/暖房費/保健衛生費/視聴覚費

※3 諸費積立金は教材・旅行・鑑賞会等で生徒が直接使用する費用となり、年度末に決算報告いたします。尚、諸費積立金につきましては、物価等の変動により金額を変更させて頂くことがありますのでご承知おきください。

### 入学時の物品購入費

※2024年2月(消費税込)時の実績です。

#### 必ずご購入いただく物品

ブレザー	23,760円
長袖ブラウス	4,510円
ネクタイ	2,200円
体操着(上)	4,190円
ハーフパンツ	4,190円
体育館シューズ(学校指定)	4,085円
通学用リュック(学校指定)	13,500円
上履き(学校指定)	1,540円
わくわくWRITING(英語教材・本科のみ)	550円
スケッチブック(美術教材)	520円
ポスターカラーセット(美術教材)	2,700円
リコーダーセット(音楽教材)	5,600円
合計(税込)	67,345円

\* リコーダーセットは、バロック式(イギリス式)をお持ちの方は購入不要です。

#### どちらかを選択してご購入いただく物品

スカート	冬スカート	17,160円
	ハイソックス 3足	2,860円
スラックス	冬スラックス	19,580円
	ソックス 3足	2,750円

\* それぞれソックスとセットで、どちらかを選択

ウォームアップ	ジャケット	7,962円
	パンツ	5,867円
ウィンドブレーカー	ジャケット	7,438円
	パンツ	6,390円
宅配送付手数料		900円

\* ジャケット・パンツをセットで、どちらかを選択

水着	スポーツ水着タイプ	3,500円
	ワンピースタイプ	3,350円

\* どちらかを選択

#### 希望によりご購入していただく物品

セーター(2色より選択)	9,350円
リボン	1,980円
冬スカート	17,160円
夏スカート	15,290円
半袖ブラウス	4,400円
ベスト	8,140円
コート	28,050円
補助バッグ(学校指定)	3,970円
通学靴	7,390円
冬スラックス	19,580円
夏スラックス	19,470円
スラックス用ベルト	3,410円
ハイソックス	1足 990円
ソックス	1足 960円

\* 通学靴は、「黒の学生用革靴(ローファー)を用いる。かかとの高さは3cm以下とする。」と定めています。

### 奨学金制度について

和洋九段女子中学校並びに高等学校の生徒に対し以下の奨学金制度があります。

名称	和洋九段奨学金	
	特待生	経済的助成
資格・対象	中学1年	入試における特待合格者
	中学2年～高校3年	①前学年の学年末における成績が上位の者 ②学業に勤勉であり、生活態度の優良な者
交付学年	中学1年～高校3年	中学2年～高校3年
応募	不 要	申請書による申込
選考	選考会による選出	応募者に対して、選考会にて選出
給付額	中学1年～高校3年	1年間の授業料相当額または一部
返還の義務	な し	な し





中学3年 Mさん



中学3年 Yさん



中学3年 Fさん



中学3年 Kさん



中学3年 Tさん

## SDGsで世界に視野を広げる。 明るく楽しく社会貢献に挑戦!

**Fさん** 中1の時、先生が個人面談を1年間通してやってくれて、「ボランティアのようなものに興味がありますか?」という質問に対して、「あります」と即答したのが今の私たち5人です。

**Tさん** それから私たちは、初代team amiの先輩方からアドバイスをいただきながら活動してきました。先輩から受け継いだ『SDGsすごろく』はその活動の一環です。

**Mさん** 実は今、新生team amiとしての新しい挑戦が始まっています。そのきっかけとなったのが、Yさんが一人で渋谷に出かけて行った外国人インタビューでした。

**Yさん** そうなんです。「SDGsについてどう思いますか?」と、外国人の方々に次々と声を掛けていきました。皆さん協力的で丁寧に答えてくれて

とても感動しました。

**Tさん** Yさんの体験を聞いて、今度はみんなでやろうということになって、SDGs4番の目標である『教育』を題材に、合計31名の外国人の声を集めることができました。

**Yさん** ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス博士の来日記念セミナーに参加し、そこから“世界に視野を広げるのってすごく重要だな”ということ学んだのも大きかったですね。

**Kさん** それから私たちは、企業訪問にも積極的になりました。本当に勉強になるんです。

**Mさん** 新しいことへの挑戦といえば、講談社のワンテーママガジン『FRaU』(フラウ)が主催するコンテスト『FRaU SDGs edu こどもプレゼン・コンテスト2023』に、「世界共通の明日も生きる!!

単語帳」というものを考案し応募しました。結果は「中学生の部」の部門賞をいただきました。

**Fさん** 「世界中の人が教育を平等に受けられる社会を作りたい」「ちゃんとした教育が受けられれば戦争や紛争が減るはず」という想いを込めた、世界中の人が読めるよう工夫した単語帳です。今後はバナナペーパーを使用して作成し、寄付も予定しています。

**Kさん** バナナペーパーはオーガニックバナナの茎の繊維に、古紙や森林認証紙を加えて作る地球環境に優しい紙のことです。こういった情報も企業訪問で教えてもらいました。

**Fさん** これからもSDGsの普及に、明るく楽しく努めていきます!

### 『team ami』の取り組み

チーム名の由来はフランス語で「友だち」を意味する「ami」から。SDGsのキーワードであり、チームの活動方針でもある「誰一人取り残さない」ことを表す名称として初代メンバー(現大学2年生)が命名。「一緒に世界を変える友だち」という想いは代々のメンバーが継承。「SDGsすごろく」は、ゲームを通して多くの人にSDGsについて知ってもらおうことを目的に開発されました。



高校1年 Fさん



高校1年 Aさん



高校1年 Yさん

## ゲームを使った新しい選挙方法を提案。 全国高校生政策甲子園で優秀賞受賞!

**Aさん** 私たちはゲームを使った選挙方法を考えました。ゲームには、「選挙の仕組みを簡単に知ることができるモード」と、「実際の選挙とリンクしたモード」の2つがあります。

**Fさん** 実際の選挙が始まると、立候補者はこのゲーム内で選挙活動ができ、有権者は立候補者の演説や、公約を見てゲーム内で投票できます。

**Yさん** この政策は若者をターゲットとして考えましたが、投票所に行けない高齢者や、からだの不自由な方も簡単に投票できるようになっています。

**Aさん** ゲームのヒントになったのは「あつまれどうぶつ森」(ゲームソフト)です。

**Yさん** そこから政策提案動画の作成を始めました。

**Fさん** 動画に関しては、プログラミング教室に通っていた経験を活かしました。

**Aさん** エントリー数は120組でしたね。そこから本選に10組が進み、最終的に3組が決勝大会で競い合うという流れでした。国会議事堂内でプレゼンしたことも楽しかったです。

**Fさん** 審査員の方々からは、独創性を中心に評価していただきました。それを裏づける資料なども徹底して揃えたところも褒めていただきました。

**Yさん** 選挙に関心を持つようになったのは、両親が毎回選挙に行き投票しているのに、「投票率が低下している」などと報道されることが不思議だったからです。仮にそうだったら、もっと選挙に関わる環境を整えることが大事では

ないかと考えました。

**Fさん** AさんとYさんの積極的な行動力に感謝しています。一緒にできて良かったです。

**Yさん** まず3人が顔を合わせる機会を作ることが大変でしたが、諦めないで最後までやり抜くことが大事だと、そんなことを今回の政策甲子園で学んだような気がしています。

**Aさん** 本当にそうですね。政策甲子園に出る前はあまり声も大きくなかったし、どちらかというと内気でしたが、自分の意見を発信することが楽しくなりました。

**Fさん** また次も「天才集団」として、新たな何かに挑戦していきたいです!

Stories



### 『天才集団』の取り組み

日本青年会議所が主催する「政策甲子園」は2023年が初開催。「第1回といふところどきめいた」というYさんが中心となり、FさんとAさんを誘って結成されたのが「天才集団」。チーム名には「柔軟で天才的な発想を繰り広げる」という意味が込められています。同チームが提案した政策テーマ「広げよう!自分の町つくらない?」は、賛成票数1992票を集め優秀チームに輝きました。



# ほんとうに必要な教育って何だろう？

PBL型授業やSTEAM教育など、革新的な教育をハイブリッドで展開する和洋九段。その一方で、定評のあるきめ細かな基礎学力養成にもこだわり続けています。生徒一人ひとりと、日々温もりを感じることでできる距離で接している中高の先生方が、PBL型授業重視と基礎学力養成重視の立場に分かれて、熱い議論を交わしました。

不確実な時代だからこそ、  
正解のないものを見つけ  
問題解決をする力が必要です。

**PBL型授業**  
を重視したい



**基礎学力養成**  
を重視したい

将来の選択肢を広げるためにも、  
幅広く基礎知識を身につけ  
「知恵」にして欲しい。



## PBLを通して学んだ経験は 生きる糧としてもつながっていく

**中原先生** そもそもPBLは「問題解決型学習」「課題解決型学習」などと訳される学習法ですが、例えば、「体育祭で行う『扇の舞』を成功させるにはどうしたらいい?」というテーマをもとに、担当委員たちの間でPBLを応用する機会があります。本校ではすでに定着している学び方といっても過言ではないでしょう。

**木津先生** 私は5年連続で高2~3の授業を持っているので、大学受験を視野に入れた授業をしなくてはいけないという気持ちが強いです。どうしても授業の中で過去問や演習問題を扱わなくてはなりませんので、PBLの重要性よりも、「いやいや、まずは基礎学力重視でしょう」と言わざるを得ないのです。

**佐藤先生** 私もここ6年ほど、高校の授業を担当しているので木津先生のおっしゃることがよくわかります。ただ興味深いのは、今の高2と接していると、PBLの経験からグループになって意見交換することに慣れていきますし、発表がしっかりしていますよ。

**中村先生** そうは言っても、昔ながらの「読み書きそろばん」とまでは言いませんが、やはり「じっくりと基礎学力を固めてからのPBL」と、そんなふうに思うことがありますね。

**中原先生** PBLは、「人前で話す」とか「調べた結果を発表する」とか、そのトリガーに対して自分の答えを見つけるということなのですが、将来的に大学受験や、さらにその先の社会人に…となった時に、PBLを通して学んだ経験は生きる糧としてもつながっていくものと考えています。つまりそういった

場に慣れておくことも重要なのです。

**中村先生** 中原先生がおっしゃるように、PBLを通して身につけた力は確かに社会に出てからも活きるものでしょう。ただ生徒によってはPBLに対しての苦手意識もあります。生徒それぞれの個性を活かしながら、そこはきめ細かくケアしてあげたいところです。

**中原先生** もちろん全員が得意なわけではありませんが、逆に上手な生徒の真似をしていくところから、自分の埋もれていた才能に気づくこともあります。単に人前で話をするだけでなく、自分が結論を出したことについて、自信をもって発表できるということが、6年間を通して磨かれていくところにもPBLの魅力があると考えています。

## どんなに話し上手でも 基礎学力がないと合格が難しい現実も

**木津先生** 例えば、本校では総合型入試で大学進学を目指す生徒が増えていますが、プレゼンを課す大学、グループディスカッションを課す大学があるのと同様に、それでも学科試験を重視する大学が数多くあるのも事実です。

**中村先生** 確かにそれは言えますね。PBLが最強の武器というわけではありません。

**木津先生** 生徒たちからすれば、「総合型ならもしかしらたら受かるかも」と期待したくなるのもわかりますが、どんなに話し上手でも、やはり基礎学力がないと合格は難しいというのは、残念ながら今年も経験しました。その辺りはどうですか？

**佐藤先生** はい、そこは同意します。ただプレゼンに一生懸命に取り組むことで、教科学習の成績に

好循環がうまれる生徒もいますよ。

**中原先生** 中学生は高校生と違って、同じグループに仲の良い子がいる・いないで、PBLが好きにも嫌いにもなります。「先生、この授業は嫌だ」と、はっきり言う生徒も現実にはいます。でもさまざまな教科で多くの経験を積んで、頑張ってやっつけてから少しずつ自信を持って前向きに取り組めるようになっていきます。

**中村先生** みんなが話し上手ではないからこそ、推薦に頼ってしまいがちなところを基礎学力の強化で何とかしてあげたいと思うのです。今の生徒たちがこの先、不確実な時代を生きていくためにも、どの教科においても幅広く基礎知識を身につけて、さらに知恵として臨機応変に使えるようにしていくことは必要でしょうね。

## PBL&基礎学力養成の徹底で 将来の選択肢を狭めない一人ひとりへ

**佐藤先生** 不確実な時代を生きるといえば、高1では長野県での民泊体験と農業体験をきっかけとして、プロジェクト型PBLに取り組んでいます。「人口減少に悩む地域を元気にするにはどうすればよいか?」という難易度の高いプロジェクトを通して、食物系に興味を持つようになり、大学もそういう方面を考え始めているという生徒が出てきました。

**中村先生** 家庭科の授業でも、高齢化社会で自分たちにどんなことができるのかについて、中学の早いうちから考えてもらっています。家庭科の場合はアクティブラーニング型の授業が多いのですが、「こんなことをしたらどうか?」というのを、みんなで考えています。

**木津先生** 私は基礎学力重視の人間なので、そういう問題になると悩んでしまいますが、ただ受験を迎えた生徒たちを見ていて思うのは、以前に比べて大学名で進学先を決める傾向が弱まってきたことです。「将来こういう仕事に就きたいからこういう学部・学科に行きたい」と、具体的な理由を見つけている生徒が増えています。「だったらしっかり勉強して第一希望に合格しましょう」という話です。だからPBLも基礎学力もどっちも備えていないと、将来の選択肢が狭まる、やりたいことができなくなるということなのだと思います。「総合型なのになんで試験があるの?」なんて言っている場合ではないですよ。

**佐藤先生** 最近の生徒たちが「ここに行きたい」とはっきり言うようになってきたのは、コース制が改めて整備された今の大学1年生からですね。「これをやりたい」「ここに行きたい」という生徒一人ひとりの明確な気持ちを、しっかりと応援していきたいです。

**中原先生** PBLってそもそも、正解のないものを見つける、問題解決をするということなのですが、将来、生徒たちがどんな問題を抱えて、それをどうやって解決していくかというのは、本校での6年間を経験することで、より具体的になっていくわけです。その意味でも、基礎学力をしっかり身につけたうえで、PBLの経験値も積んで不確実な時代を力強く生きていってほしいと願っています。

**中村先生** 魅力あふれる人への成長を手助けしていきたいと思っています。応援しています。

PBL型授業を重視したい

高2学年主任  
佐藤 紀子先生

中2学年主任  
中原 静香先生

PBL型授業を重視したい

基礎学力養成を重視したい

高3学年主任  
木津 奈々江先生

中1学年主任  
中村 保子先生

基礎学力養成を重視したい

# 和洋九段女子のはじまり

和洋九段の創設者である堀越千代は、幕末の盛岡に生まれました。

明治維新後に上京し、18歳で堀越修一郎と結婚します。

教育者であった夫の影響を受け、国文学や書道、数学などを専門家から学びました。

また、和裁・洋裁についても同様で、特に洋裁は当時の最先端であったフランス式洋裁を学びました。

その後、千代は「手に職を持ち自立して生きていける人材の育成」を目指し、

明治30年に和洋裁縫女学院を創立し、以来約40年間校長をつとめました。

千代は時代の要請を敏感に受けとめ対応しつつ、かつ時代を先取りする先進的な女性の育成を心がけました。

多くの苦難を乗り越え、和洋での教育に心血を注いだ千代は、校内敷地にある自宅でその生涯を閉じます。

専門以外にも幅広く学ぶことが人間として大きく成長するには大事であると説き、

自らも実践した千代の姿勢と「想い」は、現在の和洋九段にも連綿と受け継がれています。



創設者 堀越千代



校章

**明治30年** ● 堀越千代により和洋裁縫女学院創設  
洋裁教育を学校教育に取り入れ、全国的に注目をあびた

**明治34年** ● 和洋裁縫女学校に改称  
和裁・洋裁の他に、国文・漢文・習字・数学・英語・生花・割烹・教育学などの科目も開講され、いわゆる「和洋型教育」が展開された

**明治40年代** ● 文部省より中等教員受験資格認定  
次いで中等教育無試験検定による特典が与えられたこの時期より多くの家庭科教員を輩出し、卒業生によって各地に学校が設立された

大妻 コタカ 現 大妻学院(東京都)  
三島 よし 現 三島学園(宮城県)  
関口 富佐 現 郡山開成学園(福島県)  
溝部 ミツエ 現 溝部学園(大分県)など15校以上設立される

**大正時代** ● 校友会むら竹会 発足

**昭和3年** ● 高等師範科を和洋女子専門学校に改組

**昭和11年** ● 和洋裁縫女学校を和洋女子学院に改称

**昭和21年** ● 和洋女子専門学校が千葉県市川市国府台に移転

**昭和22年** ● 新教育制度により、和洋九段女子中学校発足  
翌年和洋九段女子高等学校発足

**昭和24年** ● 和洋女子専門学校が大学に昇格  
和洋女子大学発足に伴い、  
和洋女子大学附属九段女子中学校・高等学校に名称変更

**昭和30年代(後半)** ● 扇の舞が始まる  
(昭和41年度以降継続して行われるようになる)

**昭和50年** ● 中高一貫教育 開始

**平成4年** ● 校名を和洋九段女子中学校高等学校に改称  
以降、3期にわたる校舎新築工事を実施

**平成6年** ● オーストラリアでのホームステイ及び語学研修 開始

**平成8年** ● 校訓「先を見て齊える」制定  
シドニーのSt Scholastica's Collegeと姉妹校提携

**平成9年** ● 和洋学園創立100周年

**平成26年** ● フューチャーラーム・カフェテリア・  
スタディステーションなどが入る新棟が完成

**平成27年** ● 普通教室にプロジェクト設置

**平成28年** ● 生徒用タブレット端末を導入、PBL型授業開始

**平成29年** ● 新制服制定、中学 グローバルクラス設置

**平成30年** ● 高校 グローバルコース設置

**令和2年** ● 高校 サイエンスコース設置

**令和4年** ● 和洋学園創立125周年

## 併設大学のご紹介

## 和洋女子大学

千葉県市川市国府台にあります。最寄り駅は京成線国府台駅またはJR市川駅です。  
和洋九段女子高等学校から併設校推薦で和洋女子大学各学部への進学も可能となっています。

**人文学部**

- 日本文学文化学科
- 心理学科
- こども発達学科

**家政学部**

- 服飾造形学科
- 健康栄養学科
- 家政福祉学科

**国際学部**

- 英語コミュニケーション学科
- 国際学科

**看護学部**

- 看護学科



## 生徒数・生徒居住地および通学所要時間 (2023年度)

### 生徒数

中1	中2	中3	中学総数	高1	高2	高3	高校総数	中高生徒総数
78	80	95	253	71	47	53	171	424

### 生徒居住地



#### 東京23区

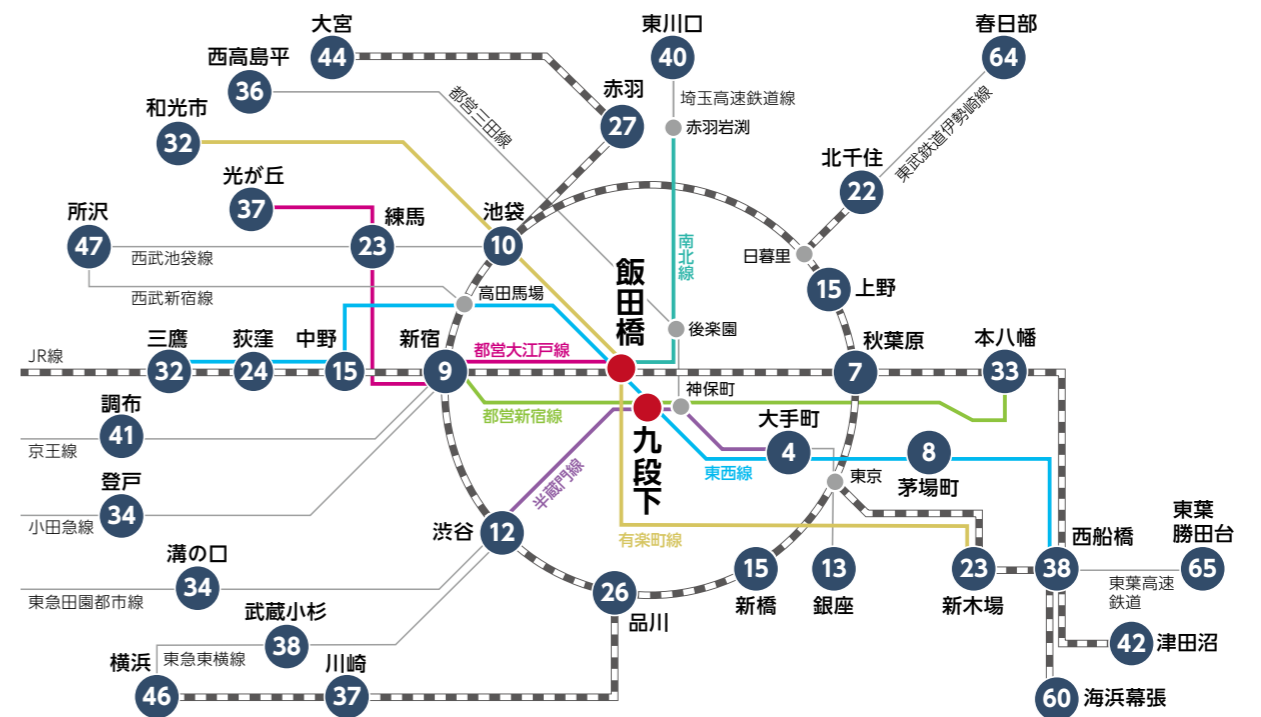
江東区	50
江戸川区	36
墨田区	32
葛飾区	17
世田谷区	17
新宿区	16
台東区	16
中央区	16
足立区	15
大田区	11
杉並区	11
練馬区	10
渋谷区	9
板橋区	8
中野区	8
品川区	7

#### 東京多摩地区

港区	6
目黒区	5
豊島区	4
千代田区	3
文京区	3
北区	2
荒川区	1
町田市	3
三鷹市	3
調布市	2
府中市	2
小平市	1
狛江市	1
西東京市	1
武蔵野市	1

### 通学所要時間

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
15分未満	0	0	1	0	0	0	1
15分～30分未満	15	11	22	5	6	16	75
30分～45分未満	27	33	35	25	12	13	145
45分～60分未満	28	20	29	24	19	12	132
60分～75分未満	5	11	6	12	9	9	52
75分～90分未満	2	5	2	3	1	3	16
90分以上	1	0	0	2	0	0	3



数字は、各駅から「地下鉄九段下駅」または「地下鉄・JR 飯田橋駅」までの、平日朝8時30分着とした場合のおおよその所要時間です。  
学校までは、駅からの徒歩による所要時間が別にかかります。



施設紹介

最新設備の充実した環境

「本当にきれいな」。学校見学に訪れた受験生からよく聞かれる言葉です。最新の設備と、伝統を感じる落ち着いた佇まいは、まさに和洋融合の学び舎です。



カフェテリア



スタディステーション



理科室



講堂



音楽室



美術室



校舎外観



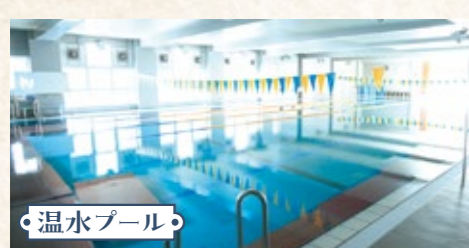
図書室



テニスコート



体育館



温水プール



ロビー



フューチャールーム



エントランス

危機管理について

地震対策

耐震校舎／緊急地震速報装置／非常用電源／発電機／簡易消火剤／一斉メール配信／優先電話回線／経路別帰宅班編成／緊急時マニュアルの生徒手帳への掲載／レスキューキャビネット／非常食(3日分)／飲料水(1人あたり500ml×9本)／非常用保温具／軍手／防護マスク／毛布／簡易トイレ／避難訓練、消火訓練／AEDを含めた救命救急訓練／防災頭巾／簡便エアマット／カイロ／クールシート／ドライシャンプー

防犯

24時間警備員常駐(株式会社センノ:都庁、成田・羽田空港等の警備会社)／登下校情報確認サービス(セコムアクティブICタグシステム)／防犯カメラ、オートロックなどの機械警備／警察直結の非常通報ボタン／登下校時の昇降口への警備員配置(不在時はロック)／来校者名簿、来校者証、保護者証／生徒向け防犯教室／生徒用貴重品ボックス



被服室



和室



佐倉セミナーハウス

千葉県佐倉市にある和洋学園の研修・宿泊施設です。

和洋学園 硯友社文庫

日本近代文学の礎を築いた「硯友社」の跡地に、和洋裁縫女学院は設立されました。和洋学園では尾崎紅葉らの当時の活動を伝える貴重な資料を保管し、一般公開しています。





# 年間行事

## 和洋生が輝く学校行事

和洋生がいちばん輝く学校行事。生徒が主体となって創り上げるイベントが盛りだくさんです。



シンガポール修学旅行

- 9 ● 始業式 ● 授業参観 ● 球技大会 ● 創立記念日
- 8 ● オーストラリア語学研修 (希望者) ● 夏期講習 ● 夏合宿(各クラブ)
- 7 ● 期末考査 ● 終業式 ● 夏期講習



文化祭



千代田区アダプトシステム

- 12 ● 期末考査 ● 送別会 ● 終業式 ● 冬期講習
- 11 ● ビデオバトル ● 合唱コンクール(中学)
- 10 ● 文化祭 ● 中間考査 ● 千代田区アダプトシステム ● 芸術鑑賞会



オーストラリア語学研修



入学式

- 6 ● 体育祭
- 5 ● 遠足・研修・修学旅行 ● 中1 プリティッシュヒルズ ● 中2 企業・団体訪問(GEP) ● 中3 シンガポール ● 高1 長野・民泊・農業体験 ● 高2 広島・京都 ● 千代田区アダプトシステム ● 中間考査
- 4 ● 始業式 ● 入学式 ● 新入生歓迎会



合唱コンクール

- 3 ● 期末考査 ● 卒業式 ● 修了式 ● 春期講習 ● 春合宿(各クラブ)
- 2 ● 生徒会役員選挙
- 1 ● 冬期講習 ● 始業式 ● 英語プレゼンテーション ● 百人一首大会(中学)



プリティッシュヒルズ研修



体育祭・クラス対抗リレー



体育祭・ダンス



# クラブ活動

## 夢中になれることって何だろう？

それぞれの夢中になれることがきっと見つかる部活動。体育部門にも文化芸術部門にも、一人ひとりの活躍の場があります。



体操部



管弦楽部



バレーボール部



空手道部



美術部



メディア研究部



テニス部



バスケットボール部



茶道部



家庭部



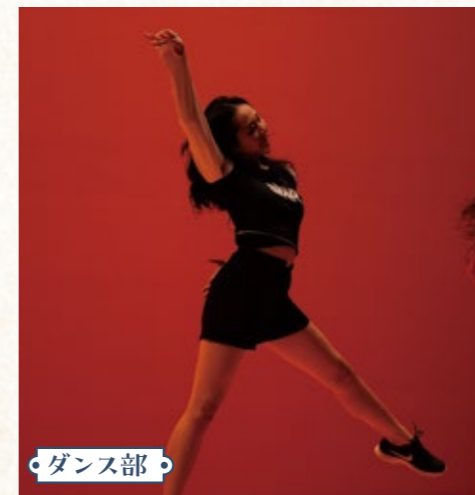
箏曲部



水泳部

### 文化芸術部門

- 英語部
- 演劇部
- 家庭部
- 華道部
- 管弦楽部
- ギター部
- コーラス部
- 茶道部
- 写真部
- 書道部
- 生物部
- 箏曲部
- チエス部
- 人形箱部
- 美術部
- 文芸部
- 放送部
- メディア研究部
- 歴史部



ダンス部



書道部



写真部



華道部



バドミントン部



コーラス部

### 体育部門

- 空手道部
- 水泳部
- 体操部
- 卓球部
- ダンス部
- テニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 陸上部



ギター部



# 生徒の一日

## あっといふ間の楽しい一日!

千代田区九段。歴史ある落ち着いた環境のなかで、勉強に部活に、今日も和洋生は頑張っています。



8:00 登校開始

皇居周辺の緑に包まれた通学路は、毎朝大勢の和洋生で賑わいます。



8:30 朝学習 8:40 出欠点検

出欠点検前の10分間の朝学習。短時間で取り組み、授業に向けて集中力を高めます。



8:50 1時限

和洋九段のPBL型授業には、「考えること」「実行すること」の楽しさが詰まっています。



12:40 昼休み

カフェテリアに隣接する購買部でも軽食の購入が可能です。



13:25 5時限

アクティブな授業からは、想定外の新たな気づきや発見が次々と生まれていきます。



15:20 SHR

学校行事に向けた取り決めや確認事項などの話し合いも行われます。



15:35 放課後(クラブ・補習)

文武両道型の学校生活をエンジョイする生徒が多いです。

和洋九段の授業スタイル

# PBL

Problem Based Learning

「あなたはどう思う?」  
自由な発想を育む  
双方向対話型授業。

現代の社会で、教育先進国が最も推奨している授業スタイルです。先生の話を静かに聴くことが中心の授業とは違い、生徒が積極的に参加して、課題に対する最もよい答えを生み出します。このPBL型授業は、次のような流れで行われます。

1 共通認識を持つ  
(基本知識や前提の確認)

2 トリガー質問が提示される  
(知的好奇心の喚起)

3 個人で意見構築する  
(創造)

4 グループで討論する  
(協働)

5 仲間へのプレゼンテーション  
(共有)

相手の意見を聴き、自分の考えを伝えてチームでよりよいものを創りあげる、という過程を何度もくり返しながら、未来に生きる私たちが最も必要とする能力を身につけます。



### リュックサック

たくさん入るリュックサック。  
ブルーのジッパーがワンポイントです。



### ベスト

季節や気候にあわせて、セーター以外に  
白いベストもあります。



夏服

冬服

ベスト+スカート

ブレザー+スラックス

ブレザー+スカート

スカートのチェック柄は、和洋九段のアイコンです。スラックスは2023年度から導入され、ブレザーに合わせた生地になっています。落ち着きと明るさが共存した「和洋」らしいコーディネートで毎日を過ごします。



## 好きな着なしを見つけよう

ブルーを基調にした明るいスカートは、和洋生の気分のようにいつも爽やか。四季折々に自分らしい組み合わせが楽しめます。



### サブバッグ

マチ付きのシンプルな補助バッグ。  
荷物の多い日に大活躍です。



### リボン・ネクタイ

ブルーのストライプが入ったリボンとネクタイ。  
毎日自由選べます。  
(式典時はネクタイ着用)



### セーター(ブルー・グレー)

鮮やかなブルーとやわらかい印象のグレー。  
あなたはどちらを着たいですか？



## CONTENTS

- 生徒の一日・PBL型授業・・・03
- クラブ活動・・・05
- 年間行事・・・07
- 施設・環境・セキュリティ・・・09

## ACCESS

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-12  
TEL.03-3262-4161(代表) FAX.03-3262-4160

東西線・半蔵門線・都営新宿線  
地下鉄「九段下駅」より徒歩約3分

JR「飯田橋駅」より徒歩約8分

有楽町線・南北線・都営大江戸線  
地下鉄「飯田橋駅」より徒歩約8分

都営三田線  
地下鉄「神保町駅」より徒歩約8分

都バス  
「九段上」「九段下」  
両停留所より徒歩約5分







和洋九段女子中学校高等学校

和洋九段女子のスクールライフ

WAYO KUDAN  
2025